



**寒さに
負けない!**

1/12 ちびっ子スキー教室 ジュネス栗駒スキー場

12月定例会

湧出を願って

新たな温泉掘削に着手



ボーリングの「やぐら」が建った工事現場

12月定例会は、12日から14日までの3日間の会期で開催されました。

人事1件、条例など2件、契約締結2件、補正予算6件の合計11件と陳情7件を採択とし、意見書7件をすべて全会一致で原案のとおり、同意・可決しました。

また、一般質問は2議員が登壇し、村政をたできました。

温泉掘削は平成3年以来2回目

ジュネス温泉

現在の源泉に障害が生じたため、新たな源泉の掘削（ボーリング）を実施する工事請負契約の締結を可決しました。

掘削の場所は、ジュネス栗駒スキー場第1駐車場北西の一角で、地下約1000メートルまで掘り下げる予定です。

保養と健康増進、交流人口の拡大による地域活性化には、温泉が不可欠であり、良質で安定した湯量を確保できる湧出を期待したいものです。

（これまでの経緯については、168号11ページをご覧ください）

○工事名 ジュネス温泉掘削工事

○契約額 6千584万円

○相手方 日さく・自然科学建設工事特定共同企業体（秋田市）

○工期 平成25年3月29日まで

年頭のあいさつ

議長 富田 義行



明けましておめでと
うございます。

年の初めまでに3回
目の雪下ろしをされた家々
もあり、3年続きの大雪が
現実味を帯びてきました。
くらしに害を及ぼすほど
の冬でないようまずは願
いたいものです。

さて、昨年をふり返
つての最大の出来事は、な
んどいっても解散総選挙
によって政権が代わった
ことでしょう。

世界も、わが国も、あ
るべき道にはずれた政治
のおこないがあれば、必
ず民の厳しい審判をうけ
ることは歴史が教えてい
ます。昨年末の選挙結果は、
「約束を破るもの、驕るも

の久しからず」を、再び生
きた教えとして私たちに悟
らせてくれました。

道にはずれたその国政に
影響されて、村と関係する
事業にも停滞がみられまし
たが、復帰政権がまた同じ
驕る過ちをおかさないこと
を何よりもぞみたいもの
です。

ところで、村には昨年も
多くの教育視察の方々が訪れ
なかに県外の地方議会の
みなさんもおりました。

その視察団が私たちに寄
せた言葉の一つに「優秀な
子供たちを育てても、村に
定着しなければどうにもな
らない。これをどう考えるか」
という問いかけがありました。

私は、その問いに対して「学
力は生きる力に身につけ、
賢くなること。人の生きる
道は様々だから、視野を大
きくもつべき。優秀な子供が、
いつか国内、世界でも大き
なしごとをしてくれたらそ
れは村にとって大きなプラス
です。」

村に定住の子供たちも、生
きる力、賢さがあれば、役
場職員も、農協職員も、他
の勤労者や農林・商工業な

どの分野につく方々もきつ
といい働きをする。村全
体の生きる力の水準をあ
げておけば、過ぎた市町
村合併の時のように、大
局をよく見据えた適切な
判断もできるはずだから、
村の将来展望は明るい」と
そんな思いを込め、答え
てきました。

まもなく小中学校の卒
業式と入学式があります。
式場でのあの子供たちの
姿を見て、私は「村づく
りのカギは公・民間わず
まさに人づくり。この子
たちのために100年先
を見すえた政治を」とい
つも思います。

その計の一つ、村の新
総合計画も本格的にスタ
ートしました。議会は、新
総合計画の骨を太くし、
肉を鍛えるために、自ら
の改革活動もさらに進め、
村政の一方の重き役割をし
かりと果たしてゆく覚悟
です。

結びに、村民各位のご
多幸・ご健勝を心よりお
祈りしまして、年頭のご
挨拶とさせていただきます。

消防団員の年額報酬を引き上げ

全階級を平成25年4月から

他町村と比較し、低いのではと指摘されていた消防団
員の報酬(年額)を、平成25年度から引き上げること
になりました。

改正する額については、県内の町村を参考にして決定
しています。(4ページの主な質疑を参照)

■消防団の報酬

階級	報酬(年額)	
	改正後	改正前
団長	42,000円	28,000円
副団長	30,000円	22,000円
分団長	24,000円	16,000円
副分団長	18,000円	15,000円
部長	16,000円	14,000円
班長	14,000円	13,000円
団員	12,000円	10,000円

な 疑 主 質

定例会最終日となる14日に議案の審議が行われました。主な質疑の内容を要約してお伝えします。

電算経費抑制へ 県内12団体でシステムを共同化

秋田県町村電算システム共同事業組合の設立

質問 共同化の総事業費と本村の負担額や経費の削減規模は。

答弁 それぞれの町村で共同化できるシステムの内容などが確定していないため、事業費も確定していない。本村では17.7パーセントの削減率を想定している。

質問 共同化により職員の負担は増えないか。

答弁 他町村との連携も考えられるので過重にはならない。

消防団の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正

質問 報酬額は、どの町村に基準を合わせたか。これより低い町村はあるか。

答弁 県内ほとんどの町村の報酬を参考に検討した。近隣では羽後町を参考にしている。県内では3つの町が低い。

北部地区簡易水道事業中央監視設備工事契約締結

質問 監視システムの内容は。また、今後予定されている岩井川と樺川地区の簡易水道についても一体的に管理するのか。

答弁 浄水場の情報を電話回線により庁舎のパソコンで監視する。一体的に管理する予定となっている。

質問 日曜、祭日の監視体制は。日直も対応可能となるか。

答弁 情報は携帯電話でも受信が可能であり、複数の担当による監視体制とする。日直の対応については検討する。



中央監視装置は浄水棟へ設置

一般会計は4千379万円の追加補正 起業支援に2千万を増額

一般会計補正予算

質問 ゴミ収集委託料の追加はゴミの処理量が増えたことによるものか。

答弁 粗大ゴミが増えている。また、収集単価を引き上げたことも要因となっている。

質問 共同畜舎付近の消火栓補修だが、屋根の下となっており（落雪などが懸念され）移動できないか。

答弁 請負業者や消防署と協議・検討し、可能であれば移動したい。

質問 新規雇用奨励金の交付で要項で定める期限となる平成27年11月30日まで採用された者については、その後も3年続くことになるか。また、採用枠の制限が規定されていないが、すべての申請を受けるか。

答弁 平成27年12月31日で打ち切りとなり継続しない。条件を満し期間内であればすべての申請を受ける。

質問 雇用が新規雇用奨励金の有効な3年間の期間内だけになる可能性もある。継続的な雇用のため、経過実績評価など行う必要はないか。

答弁 期間後のフォローアップは定めていないが、検討する。

質問 新規起業等育成支援金の追加は。

答弁 当初予算では、旧方ネダイ工場での起業に対する助成金を想定していたが、東成瀬調剤薬局が先になり、当初予算分を充てたため、不足分を追加した。



佐々木慶子 氏
67歳
田子内字田子内152
【再任】

佐々木委員の再任に同意

人権擁護委員の推薦

平成25年3月末で任期満了となる人権擁護委員について、佐々木氏を再任として推薦することに満場一致で同意しました。

質問 旧カネダイ工場（大橋場）で起業が予定されている会社の概要は。
答弁 名称は「株式会社まごころ工房」、村内4名の方により平成24年12月3日に設立されている。
質問 「まごころ工房」の作業内容は。
答弁 （仏壇の部品の）研磨、金泊貼りを行い、組立してカネダイに納入する。

一般会計補正予算(第7号)の主なもの	
歳入	
○国庫支出金	
自立支援給付費負担金の増	219万円
○県支出金	
権限移譲推進交付金の増	30万円
○財産収入	
村有林売り払い収入の増	105万円
秋田県町村土地開発公社清算金収入	128万円
○村債	
起業支援、観光施設整備事業債(過疎債)の増	3,990万円
歳出	
○総務費	
村例規集の調査費(地域主権改革一括法関連)	61万円
あきた未来づくりプロジェクト基本設計委託料	200万円
地域おこし協力隊募集事業負担金	20万円
○民生費	
自立支援給付費追加	217万円
福祉医療給付費追加	200万円
介護サービス特会(幸寿苑)操出金の減	▲79万円
○衛生費	
人件費の増額(保健師1名分)	220万円
簡易水道特会操出金の減	▲200万円
ごみ収集委託料追加	277万円
○労働費	
新規雇用奨励金追加	724万円
○農林水産業費	
農業振興費 備品購入費の減	▲500万円
地域高性能林業機械導入事業補助金	151万円
○商工費	
新規起業等育成支援金追加	2,000万円
観光施設 設計監理業務委託料追加	120万円
○消防費	
消火栓更新工事費	300万円

請願・陳情

12月定例会には7件の陳情が提出され、所管する常任委員会に付託し、審査の結果、すべて採択すべきものとし、要請に基づき、意見書を提出することに決定しました。

○オスプレイの配備と秋田県上空での飛行撤回を求めらる陳情
(陳情者) 秋田県春闘共闘懇談会代表委員 中村秀也 外1名

○消費税増税に関する意見書の提出を求める陳情(陳情者) 秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正憲

○安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也

○「ゆきとどいた教育」の前進を求める陳情(陳情者) 秋田県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長 沼田 敏明

○介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也

○「教育費無償化」の前進を求める陳情(陳情者) 秋田県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長 沼田 敏明

佐々木 正利 議員

渋滞の問題点は何か

村長 駐車場の長時間占有による

質問 秋の紅葉シーズンになると須川高原道路は毎年交通渋滞になる。それによる観光経済面のマイナスがあると思うが、この渋滞の問題点は何か。この問題について今までどのような取り組み活動が行われてきたか。

村長 紅葉の時期に訪れる一般の方と登山客に大別すると大きな要因は駐車場を登山客が長時間占有する部分がかかり大きいものがある。

岩手県を事務局として交通渋滞の緩和を検討する「栗駒地域交流促進懇談会」を結成し協議しているが、決定的な解消要因になり得ない。周辺一帯は特別保護地域で厳しい規制を受けている。栗駒山荘に行く旧国道を駐車スペースにと打診しているが進まない

のが現状である。

質問 経済効果のマイナスはどれ位と試算しているか。

村長 試算はしていないが、23年度の紅葉シーズンの場合、大体2700台通過したデータがある。駐車できた台数は大体1700台で、1000台はそのまま通過しただろうと推定している。1台に2人乗っていると仮定し、入浴料、お土産代、食事代を掛けると、400万から600万近く休みの日には稼げると感じている。これは一つの数字で断言できない。

質問 今後の渋滞解消への取り組みを伺う。

村長 栗駒地域交流促進懇談会を中心に駐車場を有効に活用する方法、整備する場所があったら整備することを働き

かけたい。対策として、現状の駐車場と駐車スペースの確保ができるか具体的に検討していきたい。

美しい村連合の定期総会を招致するか

質問 日本で最も美しい村連合の定期総会又はフェスティバルを村へ招致する考えはあるか。

村長 村を訪れた方々に対して、この連合としてどういう取り組みをしているか、村民・職員がしっかりと研修して地についたものにして、しっかりと説明し、運動として盛り上げることができるように基本的なことをまとめていきたい。一定の方向が見えてきた時点で招致になるかと思う。

防災教育への取り組みは

質問 東日本大震災を受け、

県内の小中学校などで防災教育研修会が行われているとの報道があるが、本村での取り組み状況と防災教育についての考えを伺う。又、中学生を対象にした救急救命講習はどのような状況にあるか。

教育長 防災教育指導計画を作成し、道徳や総合学習などに関連付けて全教育活動で実施している。小学校では、集団行動の際の安全に行動することの大切さ、自他の生命を尊重することなどを指導している。中学校では、自然災害と災害救助や学級活動において地域防災のあり方などを指導している。小中学校共に避難訓練を年3回行い、火災・



地震への対応、積雪時における避難の仕方などに力点を置いている。

防災教育については、災害が発生した場合、迅速に的確に対処し、身の安全を守るためには、日頃から災害に対する知識の習得、いざという時の心構え、対処の仕方、関係機関との連携、役割分担等をしっかり確認しておくことが重要であると考えている。中学生を対象にした救急救命講習は、在学中必ず一度は受けるようにするため、毎年2年生を対象にしている。



佐々木 健 夫 議員

起業育成事業の評価と継続条件は

村長 自主的で企業として成り立つ努力が必要

【質問】 起業育成事業は1年目2千万円、2年目1千万円、3年目5百万円で1組織3千5百万円を補助する制度で、既に2組織に補助金が交付され、ほかに今年度で2組織分予算化している。金額が大きしいし年度ごとに計画どおりの実績になっていないか実績評価をすべきではないか。

また起業後5年以上は事業を継続する見込みがあることになっているが、5年以内で挫折或いは6年以降継続しない場合はどのようにするのか。
【村長】 この制度は起業が3年間で一人立ちしていける見込みがあり、企業として成功する前提のもとにやっているもので、最初からこうしろあおしろではなく、企業の自主的な判断でやってもらいそれをしっかり見届けていくことになる。

要綱で5年以上の継続事業としており、その後はどうでもよいというものではなく、企業として成り立つように企業努力をしていただかなくてはならない。

まちづくり計画より決算額がかなり多いが

【質問】 村のまちづくり計画の予算額よりも年度ごとの決算額が10億円以上多くなっているが、将来村の財政に影響がないか。

【村長】 国の経済対策や交付金事業が出され、制度を活用して住民サービスの向上につながるよう積極的に事業に取り組んだことが増えている要因である。

村の財政は、財政健全化計画、公債比率等諸々の数値を示し財政計画を立ててしっかりした見通しでやっており、今後この方向で進めていきたい。

新年度予算の重点事業は何か

【質問】 新年度予算は村長の発想、指示がもとなると思っている。重点事業は何か。

【村長】 安全で安心な環境づくりのため地域防災計画を見直し、情報伝達体制の検討に入っていく。岩井川以南の総合簡易水道事業、畜産基盤整備、観光施策の温泉改修などを重点に進めていく。また来年は村制施行125周年に当たり、ふる里館前のカプセル開扉などの記念事業を行う。

成瀬ダムの波及効果の検証は

【質問】 村内に対する成瀬ダム建設の波及効果について、工事が進むにつれて期待したものが総崩れのようにである。中間において当初に期待したものと比べた現状を検証してみるべきではないか。

【村長】 ダム建設の効果は下流域では水利、治水面で大きな効果があるが、村において大柳地区で10月の集中豪雨で水田が冠水したこともあり、このような治水面では大きな効果があるだろうと思う。

今後の建設工事については、民間事業者が積極的な営業活動して、技術力、企業努力をもって工事に関わってほしい。

ダムに関連した水源地利辺整備事業はやるか

【質問】 前にダム周辺整備事業の話題があったがどうか。

【村長】 国の公共事業は柔軟な予算執行はできない状況なかでも周辺整備事業に積極的に取り組んでいきたい。自然を守り公園整備、植林など今後国交省と調整していきたい。

11月臨時会

11月19日に臨時会が開催され、平成24年度一般会計補正予算（第5号）と財産取得の2議案が提出され満場一致で可決されました。

主な内容

○財産の取得

育苗センターの敷地を、こまち農業協同組合（湯沢市）から購入するもの。

面積 5,274㎡ 金額 1,767万円

○補正予算

ジュネス温泉の掘削工事費 8,600万円
※財源は全額無利子貸付となる秋田県市町村振興資金。

危険空き家の解体経費の追加 24万円

主な質疑

質問 温泉掘削で1000メートル、50度という目標値に達しないで、さらに掘る場合にこの予算で足りるか。

また、仮に500メートル程度で湯量と温度が確保できた場合は安くなるか。

答弁 1300メートル程度までは増工できる予算となっている。予定より早く確保できた場合は、かかった費用で打ち切る。

10月23日、国土交通省湯沢河川国道事務所と行政懇談会を開催しました。
今年の研修テーマは、昨年引き続き「成瀬ダム事業」で、検証作業から検討作業へと移行している同事業について、関係する市町村へ説明した検証結果やその結果に基づき、今後のスケジュールについて説明を受けました。



事務所から各担当課長が出席されました

12月定例会議決事項名

専決処分の承認を求めることについて
（平成24年度一般会計補正予算（第6号）、衆議院議員総選挙執行経費430万円の追加）

人権擁護委員推薦につき議会の意見を求めることについて
（佐々木慶子氏を再任）

消防団の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正
（年額報酬の改正）

秋田県町村電算システム共同事業組合の設立
（平成25年4月1日から県内12町村が電算を共同化するための事業組合設立）

工事請負契約の締結
※北部地区簡易水道事業中央監視設備工事
（契約相手方・契約額）
本荘電気工業株式会社 5,912万円

平成24年度一般会計補正予算（第7号）

平成24年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）
（1,000万円の追加）

平成24年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第3号）
（歳出予算の組み替え）

平成24年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）
（1,113万円の追加）

平成24年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）
（79万円の減額）

平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
（68万円の追加）

工事請負契約の締結
※ジュネス温泉掘削工事
（契約相手方・契約額）
日さく・自然科学建設工事特定共同企業体 6,584万円

成瀬ダムの検証結果は

行政懇談会



9月定例会後に3回の全員協議会が開催されました。主な協議内容と質疑をお伝えします。

第13回全員協議会(11月12日)

大柳沼自然公園の今後の方向性と公共畜産事業の状況について説明を受けました。

解体を中止

大柳沼自然公園は、老朽化などにより維持管理費用削減のため、一部施設を解体する予定としていたが、村内の一部団体から利活用の申し出があり、更に検討を加えるため、今年度は解体を中止することとした。

主な質疑

質問 使用するとすれば、修理や改良・改築をする必要があり、全額を村で負担するののか。

回答 どのような施設が必要を含め、全体的な話し合いを行い、決めていく。

菅ノ台地区を候補地に用地交渉を行う

公共畜産事業で畜舎建設の候補地として、菅ノ台地区を選定し、説明を行ったところ、地区の住民一人から反対の要望が出ている状況だが、地区としては賛成

の意向であり用地交渉を行う予定となっている。

主な質疑

質問 地権者以外の反対者はどのような理由か。

回答 牛に对しいいイメージを持っていないと聞いている。

質問 事業には期限があると思うが。

回答 24年度中には用地交渉をまとめたい。

第14回全員協議会(11月19日)

臨時議会に上程する育苗センターの敷地購入やジュネス温泉掘削工事について説明を受けました。

掘削工事は年度末まで終了

ジュネス温泉掘削工事は、11月27日の温泉審議会に諮り承認を得て、12月定例会までに入札を行い、今年度末まで工事を終えたい。

主な質疑

質問 湯量と温度の目標値は。

回答 1分間に1000リットル前後で50度を目標としている。

質問 温泉と認めるには。

回答 一般的に25度以上であれば温泉と言われている。

第15回全員協議会(12月7日)

12月定例会に上程する議案説明のほかに平成25年度以降に予定されている簡易水道施設整備計画(岩井川・椿川地区、公共畜産事業地域おこし協力隊を募集する説明を受けました。

岩井川と椿川地区の2つに統合

簡易水道事業計画では岩井川と入道を沼又水源、手倉から大柳地区までを白滝水源とする2つの簡易水道へ統合する内容で概算事業費は約29億円、工期は8年

程度となっている。

主な質疑

質問 各1箇所の水源地で十分か。岩井川と椿川簡水をつなぐ計画はあるか。

回答 水源については十分な水量となっている。災害時を考慮し、接続する方向で考えている。

畜舎建設に椿台ウルイ地区が急浮上

事業主体の県農業公社からウルイ地区を候補地として検討してほしいとのこと、地区では役員に事業説明を済ませ、全体への説明会を予定しており降雪期でもあり測量を先行する。

主な質疑

質問 菅ノ台、谷地、鳥ヶ沢出口(ウルイ地区)の3箇所から谷地は候補から外れるののか。

回答 公社の意向も含め、ウルイ地区を優先して進めたい。

常任委員会 視察レポート

11月21日、常任委員会合同で管外視察を実施しました。その調査の内容を2回に分けて報告します。今回は、総務教育民生常任委員会の所管する事項です。

総務教育民生常任委員会

複合型災害情報提供の有効性

【視察テーマ】

東日本大震災の教訓から広域災害による停電時の情報提供が、大きな課題となつていきます。また、本村でも新たな情報提供システムを構築するための基金を造成しており、当面の重要な行政課題として、類似の視察を継続しています。

【防災ラジオ】

今回は、従来の情報提供とはイメージが異なる防災ラジオを導入している横手市を訪問し、その複合型災害情報提供システムの有効性について、市役所危機管理室長及び担当職員の方から説明を受けました。

防災ラジオは災害時に同市のコミュニティFM放送局の通常放送に割り込み、

情報を提供するものです。遠隔で強制的にラジオの電源を入れることも可能です。

現在は、高齢者の一人暮らし世帯などに配布していますが、年度内には、7千800台が配布されるようです。

【横手市の地域性】

横手市は、行政区が広く地形も多様であり、行政や災害時の情報を地域内へ一斉に周知するには限界があることや同胞系のシステムでは運用経費も莫大になるため、ホームページ、メール配信、ツイッターなど様々な情報提供を整え、市民が個々に応じた情報を収集するスタイルにしたいとの方針説明がありました。

【位置づけ】

防災ラジオは、利便性はありませんが、あくまでも情報端末の一つとして位置づけており、コミュニティFM放送局とタイアップし、行政から能動的に情報提供を行うことに主眼を置いたものと感じました。



防災ラジオの機能説明を行う鎌田副主幹



机の大きさに注目する委員の皆さん

高学力の理由は

岩手県紫波町議会が視察

11月30日、当議会で通年議会の視察先となった岩手県紫波町議会の議長、政務調査会福祉文教部会など8人の皆さんが、本村教育の現状や学校経営について行政調査視察に訪れました。会場は東成瀬小学校で、授業参観を行った後に、教育長と小中学校長から本村教育を説明し、一般質問しながらの意見交換が行われました。

要望はありませんか！

常任委員会合同村内施設訪問・工事状況視察

12月4日、常任委員会合同で村内施設の訪問と村が発注した工事状況などを視察しました。

施設訪問は、小・中学校、なるせつ子夢センターと幸寿苑で運営状況や要望を聞きました。

また、ホテルプランを訪れ、秋田栗駒リゾート株式会社から指定管理施設の状況や今後の方針について説明を受け、意



指定管理団体として秋田栗駒リゾートを訪問しました

見交換を行いました。

工事状況は、主に各地区から要望のあった箇所を中心に視察を実施しました。

また、育苗センターで実施されている試験的な水耕栽培も視察し、生育状況、本格栽培への可能性などについて説明を受けました。

これらの視察内容は、12月定例会で両常任委員長が意見を加えて報告しています。



育苗センターで試験的に実施されている水耕栽培を視察

成瀬ダムの事業推進を

中央要望会



国会議事堂で要望書を手渡しました

11月9日、村当局と合同で中央要望会を実施し、秋田県選出等国会議員と国土交通省を訪問し、地方財政の充実強化、地域の期待に応える成瀬ダムの事業継続の決定と建設促進・水源地域の活性化に向けた施策の推進を要望しました。

マメでらぐ

首都圏なるせ会

11月10日、砂町文化センター（東京都江東区）で首都圏なるせ会の定期総会が開催され、産業建設常任委員会の各委員が出席しました。

総会終了後、恒例の懇親会では、懐かしい面々と故郷や首都圏の状況をお互いに語り合いながら交流を深めました。



第24回 首都圏なるせ会総会
今年は25周年で記念行事が計画されています



若くて元気な中川店長でした

この人に聞きたい

かほ Kahō 突撃

いんたびゅう

今回は、平成24年12月から開局した「東成瀬調剤薬局」の店長で管理薬剤師の中川優太さんにインタビューしてみました。

かほ 村に住所があるとお聞きしましたが、ご出身は。
 中川 村民ですよ。ここに住んでいます。出身は湯沢市(旧市内)です。

かほ お若いようですが、年齢は、家族構成など。
 中川 28歳です。実家に両親と妹がいます。ここでは一人暮らし。

かほ 独身！恋人はいますか？
 中川 バリバリの独身です！恋人は・・・いません(泣)

かほ 募集中ですねえ(笑)
 薬剤師になるには大学6年、国家試験とハードルが高いと聞いてますが、難関を選んだきっかけは。
 中川 私の時は、4年制でした。科学に興味があったので薬学を選んだのかなあ？

かほ 前はどこに勤務されていましたか。この薬局に勤めるきっかけなど。
 中川 3月まで「なるせ薬局」にいました。その前は、関東方面で仕事をしていましたが、田舎が恋しくて帰ってきちゃいました。勤めるきっかけは、ここを経営する社長さんと知り合いだったことと前と同じ東成瀬でしたので。
 出戻り？ですね！

かほ 東成瀬中学校に恩師が勤務されているとお聞きしましたが。
 中川 英語の池田先生です。湯沢南中時代の恩師で、今でもプチ同窓会などで懇意にしていたでいます。

かほ この大雪に後悔していませんか。(笑)
 中川 運動不足なので雪カキは苦になりませんよ。(笑)

かほ 最後にPRメッセージを。
 中川 気軽に寄っていただけたらいいですね。「明るく元気な薬局」を目指してがんばります！
 また、ほかの病院からここにFAXで処方箋を送っていただければ、受け取りまで薬剤を済ませる「お店での待ち時間なし」のサービスもありますので、ぜひ、ご利用をお願いします。(FAX 47-2106)

かほ 今日はお忙しい中、ありがとうございます。薬局の繁盛をお祈りします。

暫時休憩

きゆうけい

▼慌ただしく話題の多かった12月。珍しく早い時期から降った多量の雪が一番心配である。大雪になるのが毎年の事と考え、とにかく、もう2ヶ月我慢である。

▼衆議院選挙も終わり、第2次安倍内閣が誕生した。「危機突破内閣」と位置づけ、経済再生、復興、危機管理に全力で取り組むとしたが、準決勝、決勝などと言わず、一つ一つ丁寧に実行してほしい。

▼吹雪の日に行われた消防団出初式。若い人が多くなり、世代交代を感じる。同世代が少なくなりチョット寂しい。

▼年の瀬、下痢で体調を崩した。ノ口かもと思っただが嘔吐は無い。これからの時期、中・高校生は受験シーズンが始まる。体調には十分注意して臨んでほしい。

(副委員長・佐々木正利)

東成瀬村
議会だより
 平成25年1月20日発行

No.169

■発行 東成瀬村議会
 ■編集 東成瀬村議会広報対策特別委員会
 〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
 TEL 0182(47)3411 FAX 0182(47)3117 e-mail gikai@vill.higashinaruse.akita.jp
 印刷/株式会社増田印刷所